

日程：2016年5月15日（日）-16日（月）

場所：富山県富山市（国際会議場）

内容：気候変動交渉及び温暖化対策（市場メカニズム、都市間連携等）、ポスト2015年開発アジェンダのうち環境の保護に関するゴール・ターゲットの実施、資源効率・神戸3R行動計画のフォローアップ、化学物質管理、生物多様性、海洋ごみ等（調整中）

参加：G7各国（伊、加、仏、米、英、独）、EU及びアウトリーチ（調整中）

## 開催理由

- ・ 2020年以降の温室効果ガス排出削減の新たな国際枠組みとポスト2015年開発アジェンダがともに2015年に合意される予定。
- ・ これらの新たな枠組の実施に向けて、ハイレベルの交渉・検討を進めることが必要。
- ・ 加えて、国際的に関心の高まっている環境保全政策をG7各国と協調して進めるための政策対話の場とすることができる。

## 参考：G8環境大臣会合（平成20年、神戸）概要

- ・ G8各国を含む全19か国の環境担当大臣会合及び8国際機関が参加。
- ・ 鴨下環境大臣（当時）が議長を務め、議長総括を採択。
- ・ 加えて、「神戸・生物多様性のための行動の呼びかけ」及び「神戸3R行動計画」の2つの文書に合意。